

# 質問通告・内容一覧表

議会傍聴者用

質問順	質問議員	通告の標題・内容
1	山口優子	<p><b>◎（１）認定こども園の待機児童の現状と対策は</b></p> <p>認定こども園しかおおいに入園を希望しながら、入園許可が下りない待機児童が複数存在している。</p> <p>保護者にとって、子供を産んだ後も仕事が続けられるかどうかは、第２子、第３子を考える上での人生設計にも大きな影響を与える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和５年４月１日時点での厚生労働省の定義による待機児童・潜在待機児童数は。</li> <li>2 令和５年４月１日時点で入園を希望しながら入園できていない児童の年齢別の人数は。</li> <li>3 1と2が整合していない場合、その要因は。</li> <li>4 待機児童に対応できる施設面積は確保できているか。</li> <li>5 待機児童をすべて受け入れた場合、年齢ごとに不足している保育士の人数は。</li> <li>6 4と5について、保育の質の向上のため、国の保育士配置基準よりも多くの保育士を配置するなど、鹿追独自の保育士配置基準や考え方で運用している点があるのかどうか。</li> <li>7 クラス担当保育士２３名以外の、保育補助職員２名・代替保育職員２２名の担当している内容や勤務の状況は。</li> <li>8 待機児童数の改善に向けての対策や取り組みは。</li> </ol> <p><b>◎（２）自転車ヘルメット着用啓発と防犯見守りについて</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ２０２３年４月１日より道路交通法が改正され、自転車利用者に乗車用ヘルメットの着用が努力義務化された。</li> </ol> <p>鹿追町民の大人にも子供にも自転車ヘルメットの着用を啓発するため、数千円ほどの購入費や商品券を助成しては。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 ５月３０日に帯広音更方面から鹿追高校へ登校する生徒が乗っている路線バスに不審者が乗り込み、接触、脅迫、付きまといがあった。その際、保護者連絡アプリ「マチコミ」による周知があったが、一般の鹿追町民には、防災無線や町お知らせアプリ「ミジカ」等による配信はなかった。</li> </ol> <p>不審者情報は広く知らせて、防犯のための見守りを行うことが重要である。不審者の情報などを配信しないという運用ルールになっているならば、すみやかにルールを変更し、情報共有、注意喚起するべきと思うが。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3 「子ども１１０番の家」が町内６０か所ほどあるが、子供たちにとどのくらい認知がされているか、活用された実態がどのくらいあるのか、現状を伺う。</li> </ol>

質問順	質問議員	通告の標題・内容
2	狩野正雄	<p>◎ 農村景観と交通安全</p> <p>町道7号に設置されている防雪壁は解体収納がされなくなり、住民やドライバーから景観の阻害や取り付け道路の見通しが悪くなるなど、交通安全の面からも指摘されている。</p> <p>現在の状態では交通安全や景観保持から考えて、その利点が活かされていないため、従来行っていた解体収納に戻すべきと思う。</p> <p>定期的に組み立て設置、解体収納をすることで各部材の不具合や変形を見つけることも出来ると思う。作業員の手配が難しいことが原因とも聞くが、作業の見直し、民間事業者に委託する考えは。</p> <p>また、町道の白線や商店街の駐車場内の区画線が消えているが、交通安全面等の観点から、点検調査を行い、計画的に線を引きなおす必要があると考えるが。</p>
3	黒井敦志	<p>◎ 組織の開発と活性化について</p> <p>より良いまちづくりを目指した住民参加には、情報のやり取りが必要であり、議論の基となる正しい情報の発信が不可欠である。</p> <p>効果的、組織的に情報発信をしていくためには、組織の情報共有が必要であり、さらに発信する情報内容に磨きをかけていくことが重要である。</p> <p>自治体職員は、いかに能力を高め、いかに能力を発揮するかが大事であり、職員のさらなる資質向上は、町の将来的にも大切な財産になると考える。自ら考え自ら行動する自主的に変化する職員を育てるために、そして情報発信がいかに重要かを組織的に啓発する必要がある。</p> <p>組織の開発と活性化を目指す考えは。</p>